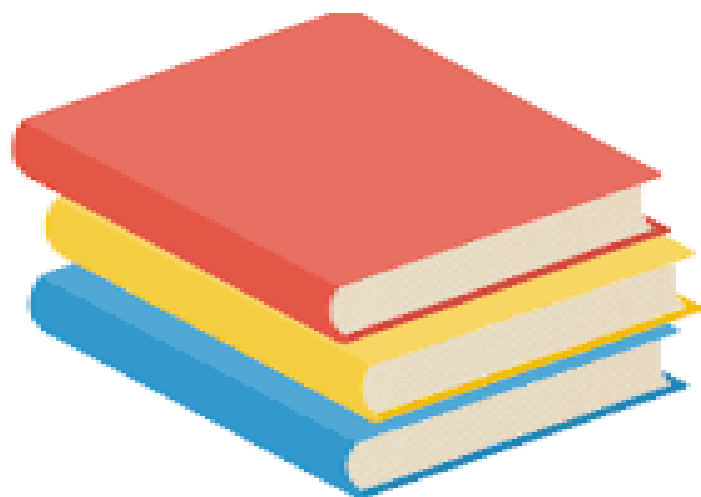


活動報告書

第16回

阪神つながり交流祭

2025



阪神つながり交流祭学生実行委員会 2025

「もくじ」

1. 阪神つながり交流祭の実施内容 p3-5

交流祭当日に実施した内容をまとめた（当日来場者に配布するパンフレットを再掲）

2. 交流祭当日のアンケート結果のまとめ p6-9

交流祭当日に参加者に募ったアンケートをグラフ化し、その結果から良かった点や反省点を報告する。

3. 2025年度の活動の進め方 p7

来年度の実行委員会の皆さんに参考にしていただくために、我々がどのようなスケジュールで当日まで迎えたのかをまとめた。

4. 個人振り返りレポート p8-32

今回の活動全体を通して、個々人がどのような活動をし、どのような学びを得たのかをレポートにまとめた。

5. 作業別振り返りレポート p33-36

つながり交流祭に向けての準備工程別にレポートを作成した。来年度実行委員をされる皆さんには、これをもとに活動の全体像をつかんでいただきたい。




地域活性化に取り組む
大学生・NPO・市民活動団体・企業等の交流イベント！

第16回

阪神つながり交流祭

12.7 SUN 13:00～17:00

 甲南大学西宮キャンパス
(阪急西宮北口南改札口徒歩3分/JR西宮徒歩13分)

～目的～

地域団体や事業者、商店街等と連携して実施する地域活性化に向けた活動の促進をめざしています。



阪神つながり交流祭についての
アンケートは、
こちらからご回答いただけます！

主催:つながり交流祭学生実行委員会
共催:兵庫県阪神南県民センター
企画運営:NPO法人コミュニティ事業支援ネット

プログラム

13:00	開会式・あいさつ	*兵庫県阪神南県民センター長 *甲南大学西宮キャンパス事務室次長 *つながり交流祭学生実行委員会* ^{※1}	團野礼子 天野裕介 下村栗子	5階 アトリウム
13:15	大学生による活動発表 参加学生団体：p2～3 参照	ブースセッションへの導入として、参加学生団体が活動概要を発表します。(各団体発表3分)		5階 アトリウム
13:55	ブースセッション 参加学生団体：p2～3 参照	参加者が自由に参加学生団体のブースを訪問し、交流や情報交換を行います。		5階 アトリウム
14:45	グループワーク	参加者・参加学生団体の学生がグループに分かれ、阪神南地域の魅力について話し合い、魅力にあった3色を考えることによって交流を深めます。		9階 901/902 教室
16:05	交流会	参加者同士が自由に交流や情報交換を行います。		5階 アトリウム
16:40	閉会・あいさつ	*兵庫県阪神南県民センター副センター長 *つながり交流祭学生実行委員会	金澤友道 山田諒	5階 アトリウム

※1：つながり交流祭学生実行委員

「阪神つながり交流祭」を企画運営するために阪神地域の大学生で構成する組織で、NPO 法人コミュニティ事業支援ネットが実施する「阪神まち大学*^{※2}」の中に設置されています。

※2：阪神まち大学

社会課題の解決に向けて取り組むことができる「社会に必要なチカラ」を育成する大学生向けプログラムです。

会場レイアウト図

開会式・閉会式／大学生による活動発表／ブースセッション／交流会



大学生による活動発表&ブースセッション参加学生団体

兵庫県阪神南県民センターが実施する「大学生による地域活性化支援事業補助金（一般枠・はばタン枠）」を活用して、阪神南地域（尼崎市、西宮市、芦屋市）で地域団体等と連携して地域活性化に取り組む学生団体です。

一般枠

教員の指導のもと活動を行う阪神南地域の大学・短期大学のサークル・ゼミ・研究室等の学生グループ

はばタン枠

阪神南地域の大学・短期大学に所属する学生3名以上で構成される学生グループ

1. 関西学院大学 栗田研究会

一般枠

プロジェクト：尼崎を甘〜く

担当教員	関西学院大学 経済学部 教授 栗田匡相
連携団体	一般社団法人あまがさき観光局、阪神電気鉄道株式会社 沿線価値創造推進室、尼崎市立魚釣り公園
発表概要	栗田ゼミでは、尼崎市を中心とした地域を舞台に、学生が主体となって企画、運営・取材・発信を行っています。尼崎の魅力を紹介する雑誌『甘尼』の発刊や、地域施設を活用したイベントの企画・運営に取り組んでいます。また、阪神尼崎駅前では「SDGs」「未来」「つながり」をテーマに、尼崎と世界の文化や人々を身近に感じられる大規模イベント「AMA WORLD FES」を開催しているのが特徴です。

2. 関西学院大学 早川ゼミ

一般枠

プロジェクト：味わう・作る・感じる 和の世界 in 西宮

担当教員	関西学院大学 法学部 政治学科 教授 早川有紀
連携団体	西宮和菓子ブランド発信事業実行委員会西宮商工会議所、西宮市立 郷土資料館分館名塩和紙学習館、関西学院大総務部院長事務課サステナビリティ 推進本部事務局、あおやま菓匠、GSNetwork
発表概要	西宮の観光地に留学生を連れていき、それぞれの母国語で感想を SNS に発信してもらうことで、各国の国民性を踏まえた観光プランの検討・提案を行う取り組みです。 今回、提案したのは「和紙」と「和菓子」です。実際に自分で作り、そのものの文化や歴史を楽しく学べるというものです。 イベント体験後には、アンケートを実施して実際にイベントを体験した感想や SNS に発信するような文章などを回答していただきます。 そこで出た感想や改善点等を協力してくださった企業様などにフィードバックするところまでがこの企画の目的です。

3. 大手前大学 海老ゼミナール

一般枠

プロジェクト：阪神間の地域観光資源の調査とタブロイド紙制作

担当教員	大手前大学 現代社会学部 観光・地域マネジメント専攻 教授 海老良平
連携団体	西宮市産業文化局商工課都市ブランド発信担当、にしのみや観光協会
発表概要	活動は阪神間の観光情報を掲載するタブロイド紙を制作することを目的としており、連携先となるのは西宮市商工課（都市ブランド発信担当）様、にしのみや観光協会様です。掲載内容は、西宮・芦屋・伊丹市内の店舗などを取材した情報、西宮市などが推進している「にしのみやコーヒーの扉プロジェクト」の参加店舗へのインタビュー（現在取材中）等です。なお、タブロイド紙は西宮市役所や市内の観光案内所他、各所で設置して頂く予定です。

4. 武庫川女子大学 cosmecco EMA

一般枠

プロジェクト：阪神南地域の環境保全と自然の豊かさの認知促進

担当教員	武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 井上重信
連携団体	兵庫県庁環境整備課、尼崎鉄工団地協同組合、NPO 法人、World Cleanup Day Japan
発表概要	「クリーンアップひょうご 530 キャンペーン」支援プロジェクト ・8月29日-31日甲子園球場でのプラごみ分別・リサイクルに向けた「啓発ポスター・動画作成、イベント現場での分別声かけ等を実施。 ・9月20日 Grateful Day with World Cleanup Day(メリケンパーク)でのステージイベントの司会進行及びブース展示(プラごみ削減啓発のためのクイズとゲームの実施) ・尼みつの認知度向上のためのワークショップや展示

5. 武庫川女子大学 三宅正弘研究室

活動発表のみ参加

一般枠

プロジェクト：みんなでつなぐ！水とまちの未来

担当教員	武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 教授 三宅正弘
連携団体	兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所、NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジ
発表概要	私たちは「水とまちの未来」をテーマに、下水道に注目した小学生と大学生の共創活動に取り組んでいます。尼崎市の成徳小学校4年生と連携し、10月3日に武庫川下流浄化センターの見学を実施しました。小学生には、下水がどのように流れ、浄化され、海へ戻っていくのかを視覚や嗅覚で体験しながら、自ら興味を持ち、新たな気づきを見つけてもらえるようにしました。私たちは、小学生が示した関心や発見をしっかりと受け止め、それぞれの探究をさらに深められるよう寄り添って活動しています。 今後は、小学生が下水道の魅力や大切さを学校や地域に向けて発信できる場の創出を目指しています。

6. 甲南大学 Beans Talk

はばタン枠

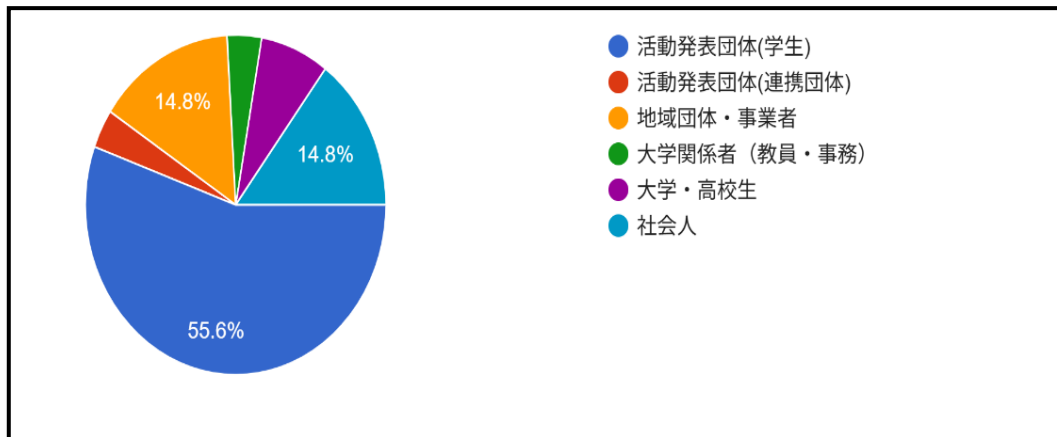
プロジェクト：西宮中央商店街の魅力発信と若者連携による地域活性化事業

連携団体	西宮商店街振興組合
発表概要	学生団体 Beans Talk は、「本当の好きを見つけるために座らない教育」を理念に活動しています。月1回、小学生向けに工作と身体活動の2分野を掛け合わせた独自カリキュラムの体験型イベントを開催。子どもが夢中で挑戦しながら成長できる環境をつくり、他分野にも挑戦できる子どもを育てます。

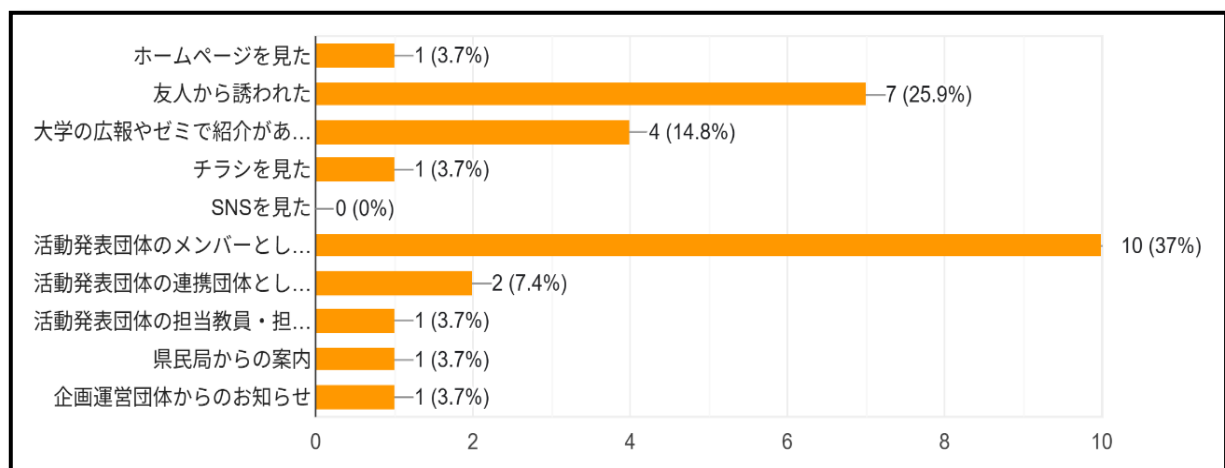
2：アンケート結果のまとめ

27件の回答が集まった。以下がアンケートの結果と内容である。

○参加者属性



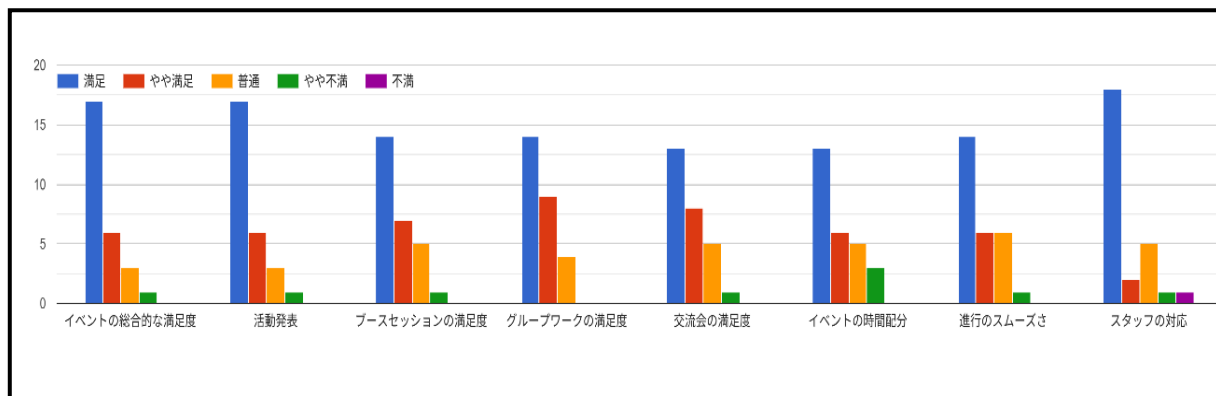
○参加のきっかけ



最も多いのが『参加団体のメンバーとして参加した』

次に多いのが『友人から誘われた』

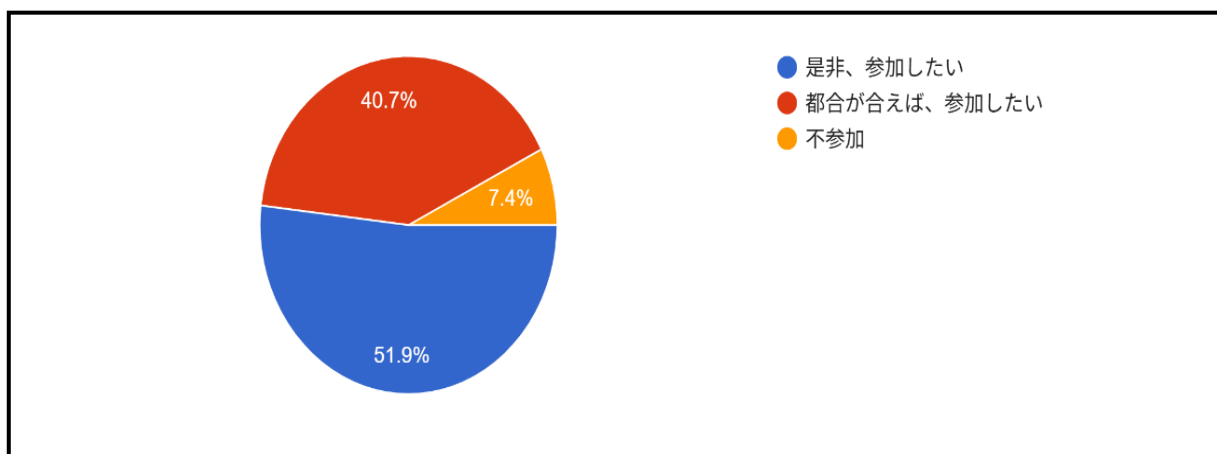
○阪神つながり交流祭の満足度



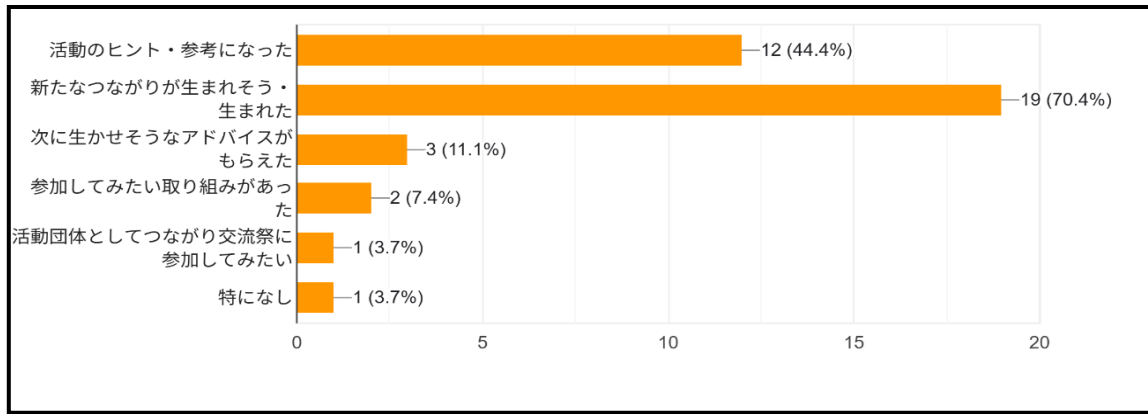
< 5段階評価(5:満足～1:不満) >

- 全体（総合的な満足度） 5：17名、4：6名、3：3名、2：1名
- 活動発表 5：17名、4：6名、3：3名、2：1名
- ブースセッションの満足度 5：14名、4：7名、3：5名、2：1名
- グループワークの満足度 5：14名、4：9名、3：4名
- 交流会の満足度 5：17名、4：6名、3：3名、2：1名
- イベントの時間配分 5：13名、4：6名、3：5名、2：3名
- 進行のスムーズさ 5：14名、4：6名、3：6名、2：1名
- スタッフの対応 5：18名、4：2名、3：5名、2：1名、1：1名

○来年度の阪神つながり交流祭への参加意思



○今回のイベントで役に立ったことや学んだこと



最も多いのは『新たなつながりが生まれそう・生まれた』

次に多いのは『活動のヒント・参考になった』

○今回のイベントに対する改善点や要望

- ・ブースセッションの時間が少し短かったと感じました。もう少し長めに取りていただきたいです。
- ・最後の懇親会で、より多くの人と話せる仕組みがあればよかったなと思った。

○今回のイベントの感想（一部を抜粋）

- ・学生のみなさんはもちろんですが、県民局の方々との交流もできてよかったです。
- ・普段、福祉分野の大学生とのつながりが多い中、今回、様々な学部の大学生たちが地域活性にいきいきと取り組んでいることを知ることができ良かったです。
- ・阪神南地域で活動している他の団体と市民祭出展などで顔を合わせる機会があっても、活動内容について深く話せる機会は無かったため、良い機会となった。
- ・他大学のゼミや企業の方など、多くの方と交流できて、とても楽しい時間でした！ グループワークでは阪神南地区について初めて知ることもあり、学びも多かったです。
- ・他の活動団体がどのような活動をしているのかを知れたことで、新たな知識や学びの機会になったと感じている。また、たくさんの人とのコミュニケーションをとれたことも良かったと感じている。
- ・他大学の活動を知ることができ良い刺激になった。
- ・新たなつながりが生まれ、連携した取組につながりそうです。
- ・グループディスカッションなど新しい取り組みが良かった。
- ・阪神間で長い年月生活されてきた方から、かつて西宮はどんな土地であったかなどを聞いたことが楽しかった。
- ・グループワークなどは、非常によかった。他団体や、お客さんとしてお越しいただいていた方の考えをよく知れた。
- ・西宮内でもたくさんの活動をされている方がいて良い交流になりました。
- ・新しい出会いと発見があり、有意義な時間でしたありがとうございます。
- ・今回、初めて交流際に参加しました。新たな繋がりができそうな気がしました。今後ともよろしくお願います。
- ・連絡がない、遅いのがとても困りました。当日の対応も実行委員会さんの対応含めどうかと思う点が多かったです。後輩には来年以降の参加を勧めたいと思いません。

○具体的に役立ったことや学んだこと

- ・活動に興味を持ってくれた学生さんが何人もいた。
- ・ブースセッションの際に、時間をもう少しとっていただきたいのと、団体の間隔を少し広げた方が交流しやすいと感じた。
- ・日本酒活動を広報している方がいて、僕たちの活動と重なるところがあった。

○アンケート結果を踏まえて

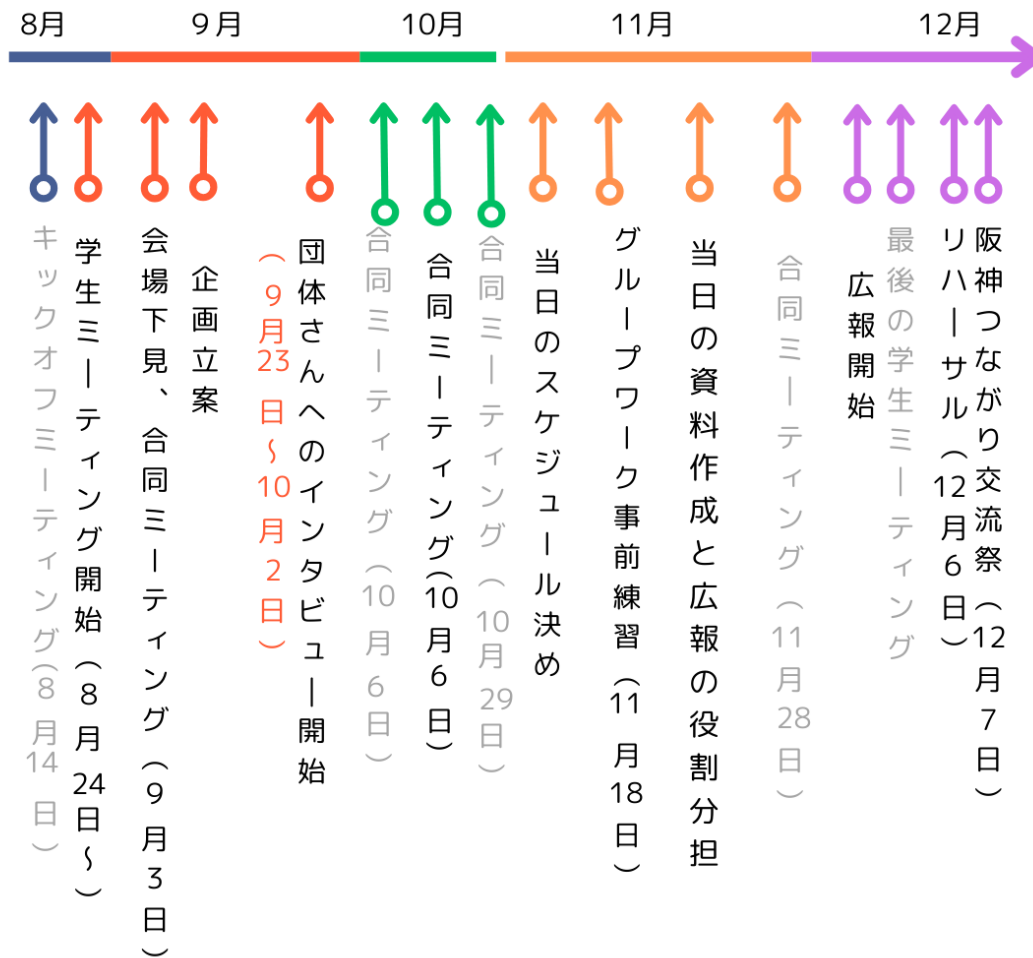
良かったこと

- ・グループワークで参加者同士が楽しく関われたという声があった。
- ・グループワークを通して阪神南地域について深く知れたとの声があり、イベントの趣旨に沿った企画ができたと感じている。
- ・ブースセッションでも、自分たちの団体だけにとどまらず、さまざまな人と関わって下さったことが伺える。
- ・その他も全体的に満足度が高く、多くの人に満足して頂いたと感じている。
- ・去年度と比べて一般参加者の割合が大幅に増え、より幅広い属性の方との交流ができた。

改善すること

- ・去年と同様に、アンケートの回答者数が少ない。閉会式で呼びかけを行い後日メールも送信したが、参加者の4分の1程度しか回答していないので、回答率を上げるには参加者に当日会場で回答させる必要がある。
- ・時間配分に対する不満が他の項目に比べて多い傾向にあった。皆さんグループワークなどを通じた交流を求めているようなので、来年はブースセッションよりもグループワークをメインにしてもよいかもしれない。
- ・最後の懇談会が思いのほか盛り上がったので、来年はお菓子なども用意して盛大なものが出来るとなおいと思う。
- ・メールの返信が遅いとのこと意見も頂いた。メンバーが一丸となって報告・連絡・相談を行う必要がある。
- ・アンケートでスタッフの対応がよくないとの声も少数ながら頂いている。参加者に対し、もう少し積極的に話しかければよかったと反省している。

8月～12月までの活動の進め方(2025年度版)



9月～11月
ブースセッションやグループワーク等の企画立案から決定までの期間

週1で定期的にミーティングを行いながら必要に応じて臨時でミーティングを行いました。団体との連絡もメールで行いました。

企画立案と決定に時間をかけられたのはよかったが
役割分担をもう少し早くてもよかったと感じました。

当日に向けた準備は早めから始めるのがいいと思いました。

4：個人振り返りレポート

大学・学部・学科・学年	奈良県立大学・地域創造学部・地域創造学科・3年
氏名	下村栗子

1. 「阪神まち大学」での活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

1-①

つながり交流祭までの活動の内容と感想を、時系列に沿って記入してください。(工夫した点、良かったこと、反省・改善点、チーム内での議論、メンバー間や県・こみサポとのコミュニケーション等)

また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

全体で行った内容	活動内容や感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
キックオフミーティング (最初に会った日)	実行委員会のメンバーと事務局、阪神南県民センターの方と顔合わせを行った。自己紹介と日程調整や役割決めを行った。役職決めはそこまで詰まらずに早く決まったほうだと感じた。経験者であり、リーダーに立候補したがうまく引っ張ることが出来なかったのが反省点だと感じた。話し合いをよりスムーズに行えるように出来たらよかったと思った。日程調整が難しかった。	3点 なぜならリーダーに立候補してリーダーになったもののうまく話し合いを進めることが出来ずに周りに頼ってしまう形になってしまったからだ。もっと、自分が話し合いを進めていくことを意識出来たらよかった。
アイデア出し/他イベントの情報収集/会場下見/合同MTG (アイデア確認)、(9月)	阪神つながり交流祭をどのように行うかということについて話し合い、行う企画についてのアイデア出しを行った。ミーティングでどのような企画を行えば交流を行ってもらえるかなどについて話し合った。それぞれが意見を出してよりいい意見になるように話合えてよかったと感じた。会場下見では会場となったキャンパスに通っているメンバーがいたのでより会場についての理解度を挙げられたと感じた。合同ミーティングでは学生ミーティングで出たアイデアを伝えて実現できるかどうかなども含めて意見をもらうことが出来た。	3点 なぜなら自分なりに交流するためにどのような企画がいいのかの意見を出し合い話合うことが出来たのではないかと考えるからである。しかし、ミーティングを引っ張る役目をもっと意識するべきだったという反省点ある。合同ミーティングでは疑問などを伝えて相談できたことが良かったと感じた。
補助団体インタビュー/企画案を詰め始める/合同MTG(企画案確認) (9月,10月)	補助団体へのインタビューでは、その団体の活動についてインタビューした。他にも、何か疑問や不安がある団体があれば聞くことが出来たのが良かったと感じた。学生ミーティングで	2点 全体の動きとして団体へのインタビューや企画を詰めていくなどがそこまで焦らずできたのがとても

	はグループワークなどの企画をどのようにしていくかを詳しく決めて行った。学生ミーティングで決まったことを合同ミーティングで共有してそこからまた学生ミーティングで話し合っという形で企画を徐々に詰めていくことが出来た。	よかったが自分は主体性をもっと持つべきだった部分が多かった。今どのようなことをするべきなのかということを考えて積極的に動けたらよかったと感じた。
最後の定例・合同 MTG/リハール (11月)	役割分担をして、当日に向けた準備をした。当日に向けた準備に取り掛かるのがもう少し早くてもよかったと感じた。リハールでは一つ一つやることを確認した。確認するとよくわかっていないところもあったので確認の重要性を感じた。リハールのおかげで当日の自分の動きをイメージすることが出来た。	3点 なぜなら、当日に向けた準備について考えるのが遅くなってしまったからだ。
阪神つながり交流祭当日 (12月)	当日は集まって準備を行った。私は主にグループワークを行う教室のセッティングを行った。自分で準備することでグループワークするときのことをよりイメージすることが出来た。ブースセッションでは参加者に声をかけて積極的に参加してもらうようにする役割だったが声をかけられた数がそこまで多くなかった。グループワークでは全体の時間の進み方を考えてメンバーと話し合っグループワーク内の時間配分を調整した。最後の交流会では自分も参加して参加者の方と話した。	3点 なぜならブースセッションの時にもっと積極的に参加者に声をかけて様々なブースを回ってもらえるように促していく必要があったかと感じたからである。全体を見ながら動けたときと見ることが出来ていなかった時があったのもっと全体に注意しながら行動するべきだった。

1-②

つながり交流祭実施までの過程において、記されている役割の中で自分自身が関わった内容と感想を記入してください。また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

《あなたが担当した内容》の具体例
 広報・ポスター企画&デザイン立案(通称冊子チーム)、大学メール連絡、資料作成、回答書を踏まえた団体さん

役割	活動内容と感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
グループワーク ファシリテーション	グループワークでの司会とタイムキープを行った。グループワークの話し合いなどの時間を全体の時間の進みかたを考えるとほかのメンバーと話し合っ決めた。グループワークが盛り上がってよかったと思った。	3点 なぜなら時間のことを考えながら運営で来たがもっと話し合いを盛りあげられるように動けたと感じたから。

<p style="text-align: center;">広報</p>	<p>Instagram で投稿するための文章を考えた。団体の方から送っていただいた文章をもとに団体の紹介文を短くわかりやすいように文章を作成した。去年の文章も参考にすることでどのような文がいいのかわかってよかった。</p>	<p style="text-align: center;">2点</p> <p>なぜなら動き始めるのが遅くなってしまったからだ。また、もっと積極的に動くべきだったと感じる部分が多かったからである。</p>
---------------------------------------	--	---

2. 「阪神まち大学」で学んだことを具体的に記入してください。

(チーム活動・チームでの役割、県・こみサポ・参加団体との連絡調整、つながり交流祭の運営といった活動を通じて学んだことや自身の適性について把握したこと、習得したスキル等)

学生ミーティングや合同ミーティングなどで様々な意見が出る中でまとめていくにはどのようにしたらいいのかということやどのような視点で見たらいいのかということをも学ぶことが出来た。グループワークの際の時間調整の経験から時間調整をどのようなときにどのように行えばいいのかということについても学ぶことが出来た。

3. 「阪神まち大学」の経験を今後どのように活かしていきたいか記入してください。

(就活のES、今後別のプロジェクトにおける活躍など)

今回リーダーを務めて自分がうまく動けなかったと感じた部分がとても多くあった。もっと引っ張っていきべきだったと感じた部分を今後は積極的に動いてメンバーを引っ張っていけるように活かしていきたいと思った。また、活動全体を見通したスケジュールについて考えた方がいいとも思ったので今後のプロジェクトに参加するときは大まかなことを見通して動けるようにしていきたい。様々な意見を出し合ってまとめていく経験はこれからグループワークや何かのプロジェクトでも活かしていきたい。

4. 来年の実行委員会に向けて

来年の実行委員会では最初に大まかなスケジュールを決めていつまでにこのようなことをすべきだというのがわかっているならば進めていきやすいのではないかと感じた。また、企画を詰める以外にも広報などを早めに考えることでできることの幅が広がるのではないかと考える。人数が集まると日程調整が難しい場合が多いと思うので日程調整はなるべく早くにすることでミーティングの参加率を上げることが出来る。ミーティングの参加率が高い方がより話しやすいと感じた。リハーサルでの確認が出来ていたおかげで当日の動きがイメージできたことから細かいところも確認しながら進めていきたい。

大学・学部・学科・学年	甲南大学・マネジメント創造学部・マネジメント創造学科・2年
氏名	山田 諒

1. 「阪神まち大学」での活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点 1-①

つながり交流祭までの活動の内容と感想を、時系列に沿って記入してください。(工夫した点、良かったこと、反省・改善点、チーム内での議論、メンバー間や県・こみサポとのコミュニケーション等)

また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

全体で行った内容	活動内容や感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
キックオフミーティング (最初に会った日)	兵庫県阪神南県民センターにて、初めて2025年度のメンバーとお会いした。今年はメンバーが私以外全員女性であったため最初は少し緊張した。県民センター、コミサポの方とは去年も関わらせて頂いていたのでその点は安心することができた。私は、去年度の活動の流れや大変だった事を簡潔に説明した。その後、今年度私が副リーダーを務める事が決定した。メンバー間の日程調整がうまくいかず、定例ミーティングの日程調整がうまく進められず、時間を取ってしまった事は副リーダーとして反省している。	4点 去年度の経験も活かしつつ、アイスブレイクなども交えながらメンバーの発言を促すことができたから。また、現実的な視点からどのように活動を進めていくべきかを提案することができたから。
アイデア出し/他イベントの情報収集/会場下見/合同MTG (アイデア確認)、(9月)	今年度は、会場が話し合いに適した甲南大学西宮キャンパスということを活かして、イベントの中でグループワークを行うという方針にした。 イベントを通して、自分たちの団体だけでなく、他の団体や地域の方々となつがって欲しいという思いをこめた。ブースセッションとも並行して行うことになったが、具体的なスケジュールなどについてはまだ決まらなかった。なお、毎回のミーティングでは、皆に内容が伝わり欠席者にも内容が伝わるようにプレゼンテーション資料を作成した。下見については、私が甲南大学西宮キャンパスの学生であるため、他のメンバーに大学のことを率先して分かりやすく伝える事ができた。	3点 アイデアがたくさん出て、方針が固まったのは大変よかった。しかし、副リーダーとして反省している点が2点ある。1点目は、説明すべき事が多すぎて、ミーティングの中で私の説明が長くなりすぎたことだ。もう少し簡潔に説明できればよかった。2つ目は、メンバー間で日程が合わず、全員がそろう機会が少なかったことだ。できるだけ、欠席者には個別に電話などをしてミーティングの内容を把握してもらうように対応していた。
補助団体インタビュー/企画案を詰め始める/合同	この段階になって、グループワークのテーマを具体的に決めたり、ブースセッションで団体さ	4点 自ら率先して動くことができたか

<p>MTG(企画案確認) (9月,10月)</p>	<p>んをお願いすることたり、全体発表会の概要を 考えたりすることができた。それをもとに、当 初 7 つあった補助団体のインタビューを行っ た。プレゼンテーション資料を用いて、内容を 簡潔に説明することができた。積極的に質問を したり、不安な点を話したりしてくださった団 体さんが多かったのでミーティングを進行し やすかった。</p>	<p>ら。 去年度の様子を踏まえながら何を するべきかを考えることができた から。</p>
<p>最後の定例・合同 MTG/リ ハーサル (11月)</p>	<p>グループワークに関して、具体的なファシリ テーションの流れを考え、必要な備品が何か 時間配分をどうするかなどを整理することが できた。 また、ブースセッションに必要なポスターの 作成をしたり、司会シナリオを考えたり、当 日のスライドを考えたりした。コミサポや会 場設営をしてくださる甲南サービスセンター の方々にお任せしてしまった部分も大きかつ たが、配置図の作成などもこの時期に行っ た。そして、ブースセッションにおいてでき るだけ多くの団体のブースを回っていただく ために、スタンプラリーも急遽企画した。ま た、補助団体である神戸女学院大学の景観生 態研究室さんのイベント参加ができなくなっ たとの連絡があり、コミサポや県民局の方 のお力を大いにお借りしながら、一般参加者 の募集を行った。</p>	<p>4点 積極的に他のメンバーとやり取り をしながら、役割分担が出来たと感 じているから。 ただ、もう少し早めに動けるとよか ったと感じている。</p>
<p>阪神つながり交流祭当日 (12月)</p>	<p>つながり交流祭の当日、私は大きく分けて 3 つの役割を担わせて頂いた。1つ目は、イベン トの司会進行を行うことである。中澤さんと 一緒に開会式から閉会式まで作成したスライ ドやパワーポイント資料をもとに司会を進め ることができた。シナリオに書いてあること を単に読み上げるのではなく、イベントが盛 り上がるように明るい雰囲気づくりを心がけ た。閉会式の前の交流セッションでは、参加 者が自分たちの活動内容を紹介してくださ ったので、大いに盛り上がり交流が促進され た。 2つ目は、グループワークにおいてファシリテ ーションを行うことである。部屋を 2 部屋に 分け、1つの部屋を私が、もう1つの部屋を 下村さんがファシリテートした。それ以外のメ</p>	<p>5点 参加者 1 人 1 人がワクワクしなが らブースセッションを回ったり、グ ループワークに取り組んだりして 下さったから。</p>

	<p>ンバーには、2つの部屋を行き来しながらファシリテーターの補助をしてもらった。時間内に終わるように気をつけつつ、BGMをかけるなどして参加者が話しやすい空気を作ることができたと思う。また、私が積極的に教室内を巡回し、グループワーク内でわからない箇所や困ったことがあればいつでも質問できるような環境を作ることができた。</p> <p>3つ目は、副リーダーとしてイベント自体を盛り上げたりまとめたりすることである。準備の段階では、コミサポの方々の手をお借りしつつ、つながり交流祭実行委員会のメンバー個人個人に仕事をお任せすることができたのではないかと思う。参加者だけでなく、実行委員会のメンバーもイベントを楽しんでくれていたのでよかった。</p> <p>そして、今年はテレビ局の方が取材に来てくださった。イベント後に番組を見てみると、参加者1人1人が生き生きと楽しそうにされていて、実行委員をやって本当によかったと感じた。</p>	
--	---	--

1-②

つながり交流祭実施までの過程において、記されている役割の中で自分自身が関わった内容と感想を記入してください。また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

《あなたが担当した内容》の具体例
広報・ポスター企画&デザイン立案(通称冊子チーム)、大学メール連絡、資料作成、回答書を踏まえた団体さんとのMTG

役割	活動内容と感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
参加団体との連絡	<p>補助団体に、企画書や回答書などを送信して内容確認のメールなどを送る。</p> <p>また、団体の方との事前面談も9月ごろに行った。</p>	<p>3点</p> <p>時々メールの返信を忘れてしまう事があったから。</p>
グループワークの企画・ファシリテート	<p>グループワークの内容を考え、当日の説明資料を作成した。時間配分まで丁寧に設定する事ができ、良かったと感じている。</p> <p>また、当日はファシリテーターとして、グループワークを盛り上げる事に尽力する事ができた。</p>	<p>5点</p> <p>当日、参加者が楽しみながらグループワークに取り組んでくださったから。</p>

イベントの司会・進行	司会のシナリオおよびスライドを作成し、開会式から閉会式までの司会を行うことができた。イベントが盛り上がるように、明るくて楽しい雰囲気を作ることができたのではないかと感じている。	5点 当日、十分にイベントを盛り上げる事ができたから。
------------	--	--------------------------------

2. 「阪神まち大学」で学んだことを具体的に記入してください。

(チーム活動・チームでの役割、県・こみサポ・参加団体との連絡調整、つながり交流祭の運営といった活動を通じて学んだことや自身の適性について把握したこと、習得したスキル等)

- ・チーム活動において積極的にアイデアを出し、コミュニケーションをとることは私の得意分野であると把握した。一方で、形の認識や手先を使った作業は大の苦手だと改めて実感した。(配置図作成など)
- ・私自身も阪神南地域について知ることができた。
- ・現実性を考え、論理的に自分の考えを述べる力が伸びた。
- ・自分の考えを書類やスライドにまとめる力が身についた。

・適切な人間関係の築き方を学べた。

- ・メールの適切な打ち方を学べた。
- ・チームをマネジメントする方法を学ぶことができた。
- ・司会の仕方について学ぶことができた。
- ・グループワークのファシリテーションをする機会を得られた

3. 「阪神まち大学」の経験を今後どのように活かしていきたいか記入してください。

(就活のES、今後別のプロジェクトにおける活躍など)

皆でイベントを成功させたという経験を、今後授業でグループワークをする機会や、別のプロジェクトやアルバイト等を行う際の糧にしたい。阪神まち大学で得たコミュニケーション力を活かして、プレゼンや、ディスカッション、ディベートなどに役立てたい。また、このイベントから色々な人と関わる面白さと喜びを学んだ。今後も色々なプロジェクトやインターンシップなどに参加し、さらに多くの人とかかわっていきたい。

また、来年度から就職活動が始まる。この阪神まち大学で学んだコミュニケーション力や論理的思考力、人間関係形成能力を大いに活かしていきたいと考えている。そして、この去年度と今年度つながり交流祭実行委員会を通して多くのメンバーと仲良くなれた。就職活動やその他大学生活で困ったことがあれば相談先の1人として多くの時間を共にした彼ら彼女らを頼りたい。そして、私も活動が終了した後も、何かしらの形でつながり交流祭実行委員会のメンバーの力になればと考えている。

4. 来年の実行委員会に向けて

- ・慣れないことも多いかと思いますが、阪神まち大学の仲間がいます。わからないことは聞きあってください。
- ・大人の方の力もかりてください。(県、こみサポ)
- ・会議が多くなると思います。予定を調整して、毎週何曜日に行うと決めた方がいいです。
- ・前例にとらわれずに、面白いと思うことはどんどんアイデアを出しましょう。
- ・失敗を恐れず、どんどん行動しましょう。行動すれば、何かしらの発見があります。
- ・言葉は人によって解釈が異なる事があります。会議以外にもライン、議事録などを通して何度も内容を認

し、不明点や不安点があればメンバーに確認しましょう。

・しんどいこともあると思います。しかし、私たちが楽しむことで雰囲気が明るくなります。真剣に取り組むことももちろん大切ですが、明るい雰囲気を作ることでアイデアが出しやすくなります。

・勉強との両立が必要です。また、アルバイトや他の課外活動、就職活動などもあるでしょう。無理はしないでください。

・メンバーは初対面の人がほとんどでしょう。プロジェクト以外でも一緒に食事に行く、カラオケに行くなどの機会を作り、お互いのことを知ると良いでしょう。

・つながり交流祭の当日に、このイベントを企画して本当によかったと心から思えるように頑張ってください!!

大学・学部・学科・学年	兵庫県立大学・環境人間学部・環境人間学科・4年
氏名	中澤 春香

1. 「阪神まち大学」での活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

1-①

つながり交流祭までの活動の内容と感想を、時系列に沿って記入してください。(工夫した点、良かったこと、反省・改善点、チーム内での議論、メンバー間や県・こみサポとのコミュニケーション等)
また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

全体で行った内容	活動内容や感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
キックオフミーティング (最初に会った日)	当日は、私用で参加できなかった。オンラインでメンバーと顔合わせだけしました。	2点 私がメンバーと初めて挨拶したのは初回のミーティングで、対面したのは甲南大学の下見だった。キックオフミーティングに参加できなかったため、LINE works やグループに参加することにも時間がかかり、みなさんに迷惑をかけてしまった。
アイデア出し/他イベントの情報収集/会場下見/合同 MTG (アイデア確認)、(9月)	<p>アイデア出しは、メンバーが自由な発想で様々な意見を提案することができた。以前も参加した経験があるメンバーもいたおかげで、方向性はずらさずに考えることができた。次回のミーティングまでに宿題として個人で考えるというようなこともあったので、少ないミーティングを上手く活用できたと思う。</p> <p>他のイベント情報回収は、特に行っていなかった。私は知りませんでした、すみません。</p> <p>会場下見は、今回も私は途中参加となってしまったが、実際の会場を見ることで、また寺坂さんが去年の様子の写真を見せてくださったりしたことで当日のイメージがより具体的にできた。</p> <p>合同 MTG は、山田くんが ppt を作成してくれたおかげで、スムーズに情報共有ができた。初回などは特に確認事項が多く、メンバー間でも情報が曖昧になっていた部分もあっ</p>	<p>3点</p> <p>私は日々のミーティングへの参加率が低かったので、参加できる時はできるだけ貢献しよう意識した。</p> <p>アイデア出しでは、メンバーがいろいろな意見を出してくれたので、それらを組み合わせたりしながら、より良いアイデアを提案した。しかし、参加できなかったメンバーに対しての情報共有は議事録のみで、その他の共有方法がなかったが、山田くんが丁寧に個別で連絡をくれたことがとてもありがたかった。</p> <p>合同 MTG では、山田くんが主に進行役を担ってくれたので、伝達漏れなどがないようにすることや、また必要な情報を時間内で確認することに意識を向けた。</p>

	<p>たので、これらの資料で改めて整理できたメンバーもいた。</p>	
<p>補助団体インタビュー/企画案を詰め始める/合同 MTG(企画案確認) (9月,10月)</p>	<p>補助団体インタビューは、メンバー間で担当の団体を決め、メールのやり取りやインタビュー実施を行ったが、担当者と団体の日程が合わない場合もあり、他のメンバーで柔軟に対応できた。しかし、団体との対面する機会がその1回だけで、イベントに参加したことがなかった団体にとってはとても情報不足な中、当日までの準備を依頼する形になってしまった。団体との連絡はメールだけでなく、最低2回のミーティングも必要である。</p> <p>企画案詰めは、グループワークのテーマが決まったあたりから本格的に始めた。以前も参加したメンバーや寺坂さんのおかげで、必要事項を詰めることができたが、なんとか絞り出しながら期限ギリギリでの作成となってしまうので、全体の流れや企画案詰めに必要な事項は先にこみサポに確認してリストアップしておくべきだと思った。</p> <p>合同 MTG は、企画案詰めに沿って確認すべきことを優先してこみサポや県の方に聞くことができたと思う。</p>	<p>3点</p> <p>補助団体インタビューでは、団体代表の方たちの雰囲気もよく、スムーズに時間内に進めることができた。彼らのイベントに対するモチベーションを維持するためにも複数回のミーティングを設けるべきだった。</p> <p>企画案では、イベント企画の経験があまりない私なりに、不足がないかを意識しながら言動できたと思う。</p> <p>合同 MTG では、私が ppt を作成する場合もあったので、適切な情報共有ができるように確認事項を優先順位順や時系列に並べ、当日までに他のメンバーと内容を確認したりすることができた。</p>
<p>最後の定例・合同 MTG/リハーサル (11月)</p>	<p>合同 MTG は、まだ詰められていなかった部分もあったので、少し焦りながらの確認作業と役割分担を行った。当日に必要なものがまだ準備できていなかったり、参加される団体の確認や集客がスムーズではなかったりした。集客に関して、SNS 運用以外で実行委員は特に動いていなかった印象なので、そこで別の広報活動（自分の大学でチラシを掲示するなど）を前々から行っておくべきだった。</p> <p>リハーサルは、私はまた私用で参加できなかったが、他のメンバーが情報共有してくれたおかげで、当日もあまり不安感なく参加することができた。</p>	<p>4点</p> <p>合同 MTG では、イベント直前だったこともあり、締め切りと当日までのスケジュールを意識しながらこみサポと県の方と調整できたと思う。</p>
<p>阪神つながり交流祭当日 (12月)</p>	<p>当日の朝に各自の役割分担を再確認したことで、スケジュール通りに動くことができた。</p> <p>司会進行では、直前に通しながら確認でき、補助団体の全体発表の流れも時間内に丁寧に説明できたと思うので、本番も時間通り</p>	<p>5点</p> <p>当日に私ができることは全てできたと思う。私の主な役割は司会進行だったので、予定通りに進めること、参加者に分かりやすく情報を提供することを徹底した。それ以外の</p>

	<p>にスムーズに進行できたと思う。</p> <p>ブースセッションでは、甲南大学の会場が広々として見渡しやすかったこともあり、参加者が自由に移動できた。私は実行委員として参加者の交流を促す役割があったので、各団体の活動が興味深い話を聞きながら積極的に人と話せたと思う。</p> <p>グループワークでは、2教室の進行速度が同じになるように、山田さんと下村さんと連携を取った。2人は各々のやり方で楽しそうに司会進行ができていたと思う。</p> <p>座談会は、会話が弾まない懸念もあったが、団体のPRタイムになったり、山田くんが場を盛り上げてくれたりしたことで、終始和やかな雰囲気だった。</p> <p>昼食の時間が無く、一部の団体から指摘を受けた。</p>	<p>場面では、私自身も楽しむことができたと思う。私は阪神地域にあまり関わりはないが、そこで様々な地域活性化の活動を行っている同世代がいることやそれらに興味を持ってくださる地域の方がいらっしまったことを知り、その交流の場に携われたことがとても嬉しかった。当日まで中々上手く準備を進められず、苦労した点もあったが、当日に参加者だけでなく実行委員も楽しめたので、参加して良かったと思う。</p>
--	---	---

1-②

つながり交流祭実施までの過程において、記されている役割の中で自分自身が関わった内容と感想を記入してください。また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

《あなたが担当した内容》の具体例
 広報・ポスター企画&デザイン立案(通称冊子チーム)、大学メール連絡、資料作成、回答書を踏まえた団体さんとのMTG

役割	活動内容と感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
参加団体との連絡	<p>補助団体に、企画書や回答書などを送信して内容確認のメールなどを送る。</p> <p>また、あわせて団体の方との事前面談を9月頃に行う。</p>	<p>3点</p> <p>メールでのやり取りでは情報が上手く伝わりづらかった。</p>
イベントの司会進行とその準備	<p>司会のシナリオ作成と当日の司会進行。他のメンバーからアドバイスをもらいながら、当日のタイムスケジュールを調整し、当日は積極的に声を出し、参加者が動きやすい雰囲気作りを心がけた。</p>	<p>5点</p> <p>当日は私自身も楽しみながら役割を全うすることができた。</p>

2. 「阪神まち大学」で学んだことを具体的に記入してください。

(チーム活動・チームでの役割、県・こみサポ・参加団体との連絡調整、つながり交流祭の運営といった活動を通じて学んだことや自身の適性について把握したこと、習得したスキル等)

- ・日々のミーティングでの発言しやすい雰囲気作り
- ・そのためにメンバーとアイスブレイクとして雑談をするべきであること
- ・その場の役割を把握して全うすることが得意
- ・自分の意見をメンバーに分かりやすく簡潔に伝える能力
- ・司会進行の難しさ、特に準備が大切であることを改めて感じた

3. 「阪神まち大学」の経験を今後どのように活かしていきたいか記入してください。(就活のES、今後別のプロジェクトにおける活躍など)

4月から社会人になるが、そこでも人と協力しながら仕事をし、企画を遂行する日々の繰り返したと思うので、今回の経験はそれの練習だと思いながら取り組むことができた。その中で、メンバー間で作業量に差が生じてしまう場面が何度かあったので、適切な役割分担や作業量の把握ができればより良かったと思う。またその前提として、初めはメンバーの熱量の差も多少あったと感じていたのも、序盤は特に雑談やそれぞれが感じていることなどの共有を積極的に行うべきだったと思う。

4. 来年の実行委員会に向けて

- ・分からないことは何でもこみサポや周りの方に聞いて、早めに解決しましょう。
- ・とても自由に企画できる環境なので、固定観念に囚われずにまずは自由な発想でアイデアを出してみてください。
- ・初めから当日まで、常にスケジュール管理(いつまでに何を決める、何が必要か、その作業に何人、何時間必要か)を徹底すると良いです。何をすべきかを、こみサポに確認したり、去年までの資料を参考にしたりすると良いです。
- ・情報共有は、文字だけではなく、オンラインや対面などでの会話の中でも行うべきです。伝わり方が人によって異なるので。
- ・業務の進行は常に人との関わりが必要なので、困ったことがあればすぐに共有しましょう。
- ・運営に関しては、いろいろありますが、実行委員のみなさんが楽しむことがとても大切です！その気持ちが当日でも参加者に伝わり、より良いイベントになります！

大学・学部・学科・学年	神戸学院大学・現代社会学部・現代社会学科・1年
氏名	吉川 千遥

1. 「阪神まち大学」での活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

1-①

つながり交流祭までの活動の内容と感想を、時系列に沿って記入してください。(工夫した点、良かったこと、反省・改善点、チーム内での議論、メンバー間や県・こみサポとのコミュニケーション等)

また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

全体で行った内容	活動内容や感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
キックオフミーティング (最初に会った日)	学生メンバー、県・こみサポの方々との顔合わせを行った。交流祭の説明や自己紹介を終えた後、学生間で役割分担を行った。挑戦を大事にしてみようという思いから総務係に立候補し、任せて頂くことになった。実行委員会の経験者が複数名いることを知り、これからの活動に安心感をもつことができた。	5点 初めて出会う人ばかりの場だったが臆することなく交流し、実行委員会として良いスタートを切ることができたから。
アイデア出し/他イベントの情報収集/会場下見/合同MTG (アイデア確認)、(9月)	過去の交流祭に参加経験があるメンバーから話を聞きながら、交流祭への解像度を高めていった。アイデアを出すタイミングでは、他のイベントへの参加経験を活かして積極的に意見を出した。それに対してメンバーが前向きに受け取ってくれて、どうすれば実現できるのかということまで一緒になって考えてくれたので、良い雰囲気の中で安心して発言することができた。 甲南大学での会場下見では、学生メンバーの山田さんが学校の方と一緒に案内と説明をして下さり、交流祭当日の様子を具体的にイメージしながら回ることができた。 合同ミーティングでは学生とは違う視点からのアドバイスを頂き、これからの活動に生きる学びを多く得た。	5点 アイデアを積極的に出すことができたからだ。
補助団体インタビュー/企画案を詰め始める/合同MTG(企画案確認) (9月,10月)	団体インタビューに向けて、学生メンバー間で役割分担しながらメールでのやり取りを行った。インタビュー当日は質問係・司会係・議事録係で役割分担を行い、スムーズに進行することができた。 メール上で団体側から交流祭に関する質問が数件寄せられたが、交流祭当日の内容が未確	4点 実行委員会の中では順調に準備が進んでいたものの、メール上で補助団体との連携が上手く取れていなかったため減点した。

	<p>定なこともあり、対応が遅れてしまった。交流祭後のアンケートでも、メールでの対応について苦言を呈されたので反省している。補助団体を不安にさせないためにも、交流祭の企画案は早いうちにまとめておいた方が良かったと考えた。</p>	
<p>最後の定例・合同 MTG/リハーサル (11月)</p>	<p>交流祭当日の細かな流れや必要な備品の確認、司会役や受付係などの役割分担を行った。各メンバーの強みを生かせる役割分担を行うことができた。前日リハーサルは会場の甲南大学ではなく、コミサポの事務所をお借りして話し合いを行った。交流祭への参加団体が減ったことに伴う変更点についても入念に確認を行った。</p>	<p>5点 短い期間で完成させなければいけない作業が多くあったが、メンバー間で頻繁に連絡を取り合いながら間に合わせる事ができたからだ。</p>
<p>阪神つながり交流祭当日 (12月)</p>	<p>3つの仕事を任されていた。 1つ目は1階での受付だ。学生メンバーの私と南さん、サポートでついて下さる大人の方2名の4名で受付業務を行った。名簿に登録されていない参加者が想定以上に多かったが、柔軟に対応することができた。 2つ目は活動発表中のタイムキーパーの役割だ。スマホで時間を計測しながら、規定時間の1分前と30秒前に画用紙を掲げて知らせた。画用紙に書かれた時間が気づらなかったため、会場で修正を加えて見やすくする工夫をした。 3つ目は開会式と閉会式でご挨拶をいただくご来賓の方の誘導だ。どちらも自分が別の活動に注力していたせいで役割を果たすことができなかった。司会者の2人が代わりにその役割を担ってくれた。時間を見て作業を切り上げる行動力にかけていたと反省している。 個人的な活動として、ブースセッションや交流会では積極的に参加団体の学生への声掛けを行い、「交流」を促すことができた。 改善点としては、スタンプラリーのスタンプを押す役割が参加団体の学生に任されていたため、参加者同士が交流する際のノイズになってしまい、スタンプラリーとして機能していなかったことが挙げられる。参加者に自分でスタンプを押してもらうシステムの方が良かったのかもしれない。</p>	<p>4点 会場の様子を見ながら柔軟に動くことができたからだ。しかし、自分の仕事への責任感が欠けていたため減点した。</p>

1-②

つながり交流祭実施までの過程において、記されている役割の中で自分自身が関わった内容と感想を記入してください。また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

《あなたが担当した内容》の具体例

広報・ポスター企画&デザイン立案(通称冊子チーム)、大学メール連絡、資料作成、回答書を踏まえた団体さんとの MTG

役割	活動内容と感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
県・こみサポとの連絡、 日程調整	合同ミーティングの希望日程を学生間で調整し、ラインワークス上に提出する作業を行った。学生間で日程のすり合わせをする際、日程調整用のアプリを活用して効率を上げる工夫をした。返信の遅れ、期限間近での希望案提出が反省点である。私に代わって他の学生メンバーが連絡をしてくれることもあり、そのさりげないフォローに助けられた。	4点 ビジネスメールでのマナーを意識しながら、丁寧に文章を作成したから。努力次第でより迅速な対応ができていたと思うので減点した。
ポスター・スタンプラリー台紙・ 活動紹介ポスターのデザイン立案	Canva を活用して、広告用ポスターとスタンプラリーと参加団体の活動紹介ポスターのデザインを作成した。他の学生メンバーに意見をもらい、微調整した後に県・コミサポに共有し、足りていない情報の補填や、より見やすいデザインへの調整をして頂いた。 後日、印刷されたものを手にした瞬間に自分たちの発案したものが形になっているのだと実感して感動した。	5点 Canva の使い方で慣れないところもあったが、メンバーと協力しながらデザインの立案ができたからだ。

2. 「阪神まち大学」で学んだことを具体的に記入してください。

(チーム活動・チームでの役割、県・こみサポ・参加団体との連絡調整、つながり交流祭の運営といった活動を通じて学んだことや自身の適性について把握したこと、習得したスキル等)

- ・チームとして活動する際、自分のためだけでなく他人やチームのために働くことの大切さを学んだ。
- ・メールで信頼関係を築くことは難しく、迅速かつ正確な対応が必要であることを知った。
- ・アイデアを多く出すことが得意だと再確認することができた。
しかし、そのアイデアを深めることは苦手であることに気づいた。

3. 「阪神まち大学」の経験を今後どのように活かしていきたいか記入してください。(就活のES、今後別のプロジェクト)

プロジェクトにおける活躍など)

- ・ビジネスメールでのマナーを身に付けることができたので、大学での学びや学外での活動で活かし、人脈を広げることに活用したい
- ・日程調整をすることに慣れたので、友人の集まりや他のプロジェクトではその役割を買って出て、仲間へ貢献できるようにしたい

- ・プロジェクトに参加する際は仲間との信頼関係を築くことが重要であり、それは日常会話の中から生まれることを知った。メンバー同士の会話を学生メンバーの山田さんがよく促してくださり、私もそうありたいと学ばせて頂いた。

4. 来年の実行委員会に向けて

- ・実行委員会のメンバーは、他の活動と掛け持ちで多忙な人が多いと思います。それでもみんなが集まる時間を大事にして積極的に関わってほしいと思います。
- ・補助団体の方（特に初参加の方）は、交流祭に関して少しでも不明な点があると不安を感じてしまいます。メールやインタビューでは、過剰なくらい丁寧に説明すると良いと思います。
- ・県やこみサポの方は親身になって的確なアドバイスを下さるので、臆せずにアイデアを提案してみると良いと思います
- ・約半年間の長いようで短いプロジェクトです。目標を細かく設定し、1つ1つ達成していくことで中だるみすることなく、力を出し切ることができるはずです。

大学・学部・学科・学年	関西学院大学・人間福祉学部・社会福祉学科・2年
氏名	南 希和

1. 「阪神まち大学」での活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

1-①

つながり交流祭までの活動の内容と感想を、時系列に沿って記入してください。(工夫した点、良かったこと、反省・改善点、チーム内での議論、メンバー間や県・こみサポとのコミュニケーション等)

また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

全体で行った内容	活動内容や感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
キックオフミーティング (最初に会った日)	初めて学生のこれから活動を行う仲間たち、阪神南県民センター、コミサポの方たちと顔合わせを行った。 緊張していたが、みなさんが温かく迎え入れてくれたので、安心してこれから活動していけると思った。	4点 なぜなら、役割分担を決めるときに、初対面で緊張したので、自分から手を挙げることができなかったから。
アイデア出し/他イベントの情報収集/会場下見/合同 MTG (アイデア確認)、(9月)	アイデア出しでは、前回と前々回の交流祭の経験があるメンバーがいたことから、前回と前々回ではなかった取り組みをしようとしてみんなでアイデアを出した。交流祭の会場の下見をして、イベント当日に使うことができそうな場所を全員で考えながら下見をした。 会場である甲南大学の西宮キャンパスに通っている山田さんがいたので、施設の詳しい説明を聞くことができて心強いなと思った。イベント当日に、会場の良いところを最大限活用するためにはどうすればいいのか考えることが楽しかった。	5点 なぜなら、夏休みの最中だったので、活動にたくさん参加することができたので、アイデアを考えることもできたから。
補助団体インタビュー/企画案を詰め始める/合同 MTG(企画案確認) (9月,10月)	当日に参加する補助団体とのインタビューでは議事録を担当した。また、企画案をブースセッションとグループワークをメインにしていこうと方向性を定め始めた。 初めて会ったときは緊張していたが、一つ一つの活動を通して仲良くなることができ、だんだん緊張がほぐれていった。私はメールのやり取りを一度もせず、学生メンバーに任せてばかりだったことを後悔している。	3点 大学の授業が始まり、忙しくて活動に参加することがなかなかできなかったから。

<p>最後の定例・合同 MTG/リハーサル (11月)</p>	<p>企画内容が固まってきて、本番に向けてグループワークのリハーサルを行った。実際に自分たちでグループワークをしてみて、当日の時間配分を考えた。</p> <p>本番が近づくにあたり、メンバー全員が一丸となって活動することができたと思う。参加してくれた人に楽しんでもらえるように工夫することが楽しかった。</p>	<p>4点</p> <p>10月にあまり活動に参加できなかった反省の気持ちがあったので、できるだけ参加できるように工夫できたから。</p>
<p>阪神つながり交流祭当日 (12月)</p>	<p>私が交流祭当日で行った仕事は、主に2つだ。1つ目は会場に来られる来場者の受付を担当した。笑顔で元気よく挨拶をすることができた。2つ目は途中で来られたお客様の誘導を行う仕事だ。途中から知らない人たちの中に入ることが恥ずかしいと言うおもいたが、入りやすくなるように一緒に輪の中に入った。</p> <p>ブースセッションや交流会でたくさんの人たちが新しい人と交流できるようにもっと声掛けをすればよかったと思う。交流会では、元々知り合いの人たちで集まっている姿をたくさん見受けた。新しくグループワークで仲良くなった人たちと交流する機会につなげることができるように、新しく知り合った人たちとも交流してくださいという声掛けをすることができたらよかったと思う。</p>	<p>4点</p> <p>実行委員としての自覚と責任を持ち、臨機応変に対応することができたから。</p>

1-②

つながり交流祭実施までの過程において、記されている役割の中で自分自身が関わった内容と感想を記入してください。また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

《あなたが担当した内容》の具体例
 広報・ポスター企画&デザイン立案(通称冊子チーム)、大学メール連絡、資料作成、回答書を踏まえた団体さんとのMTG

役割	活動内容と感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
<p>団体とのミーティング</p>	<p>議事録を担当した。普段から議事録を取る機会があったので、特に苦労しなかった。</p>	<p>3点</p> <p>しっかりと議事録を書くことができたから。</p>

2. 「阪神まち大学」で学んだことを具体的に記入してください。

(チーム活動・チームでの役割、県・こみサポ・参加団体との連絡調整、つながり交流祭の運営といった活動を通じて学んだことや自身の適性について把握したこと、習得したスキル等)

私は今までボランティア経験が特になく、イベントにも参加する側だった。しかし、今回イベントの企画・運営として関わらせていただいたことにより、一つのイベントを完成させるためにはたくさんの準備をすることが必要で、多くの人の協力があってこそ成立することを学んだ。

3. 「阪神まち大学」の経験を今後どのように活かしていきたいか記入してください。(就活のES、今後別のプロジェクトにおいての活躍など)

私は「阪神まち大学」の経験を今後地域福祉の担い手として活かしていきたい。その理由は、私は将来社会福祉士として働くために現在大学で勉強をしており、働きたい分野が特に決まっていなかったが、イベントを通して地域の人たちでつながりを持つことに魅力を感じたからだ。

4. 来年の実行委員会に向けて

コミサポや県民センターの方たちが親身になって、たくさん協力をしてくださります。何か困ったことがあれば、学生メンバーだけで抱え込まずに相談をしてください。

大学・学部・学科・学年	関西大学 総合情報学部 総合情報学科 3年
氏名	川畑 文乃

1. 「阪神まち大学」での活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

1-①

つながり交流祭までの活動の内容と感想を、時系列に沿って記入してください。(工夫した点、良かったこと、反省・改善点、チーム内での議論、メンバー間や県・こみサポとのコミュニケーション等)

また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

全体で行った内容	活動内容や感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
キックオフミーティング (最初に会った日)	こみサポ、阪神南センター、学生メンバーと顔合わせを行った。自分の成長になったらということで参加を決めた。わたキャラとは、全く異なる内容で大丈夫か不安であったが、寺坂さんをはじめサポートして下さること、経験者もいて安心できた。	5点 緊張はあったものの、良いスタートをきれたと思う。
アイデア出し/他イベントの情報収集/会場下見/合同 MTG (アイデア確認)、(9月)	実際に甲南大学に行き、とても詳しく説明していただいたことで当日のイメージができた。 合同ミーティングでは、今までの疑問や、当日について、去年の様子などこみサポ、県の方としっかり話し合うことができた。 <u>改めて「阪神つながり交流祭」について知ることができ、これから頑張っていこうという気持ちになった。</u>	5点 こみサポ、県の方としっかり話し合うことができ、当日のイメージができた。
補助団体インタビュー/企画案を詰め始める/合同 MTG(企画案確認) (9月,10月)	企画案では、グループワークのテーマ決めに一番時間がかかり、苦労した。メンバーと何度もミーティングを重ね、こみサポ、県の方からの意見も沢山頂いた。最終的に、「阪神南のイメージカラーとは？」という自分の案が通って嬉しかった。	5点 時間がかかったグループワークのテーマ決めで自分の案が通ったので、5点にした。
最後の定例・合同 MTG/リハーサル (11月)	当日の流れや、必要な備品などいつも以上にメンバーと密に話して進めていった。寺坂さんが当日の個人の動きを作ってく دادかったのでそれを参考にリハーサルを行った。とても、細かく、かつ分かりやすく、最後の準備に挑めた。	4点 直前でもやらなければいけないこと、確認することなどはあったが、それぞれの役割をおなし、メンバーとも密に情報の共有ができた。

阪神つながり交流祭当日 (12月)	当日は、別の予定があったため、午前の準備だけに参加した。アトリエの座席の張り紙などを担当した。短い時間ではあったが、大きなトラブルもなく落ち着いて準備することができた。	3点 自分の担当箇所であるアトリエの準備は円滑に行うことができたが、当日は交流祭に参加できなかったため、3点にした。
----------------------	--	---

1-②

つながり交流祭実施までの過程において、記されている役割の中で自分自身が関わった内容と感想を記入してください。また、各項目での自身の働きを5点満点で5段階評価し、その理由とともに記入してください。

《あなたが担当した内容》の具体例

広報・ポスター企画&デザイン立案(通称冊子チーム)、大学メール連絡、資料作成、回答書を踏まえた団体さんとのMTG

役割	活動内容と感想	5段階評価と評価理由 (Ex. 5点。なぜなら～)
参加団体とのメール連絡	早川ゼミとのメール連絡を担当した。すぐに返事が来ていないときがあったのが反省。	3点
広報	インスタグラムの投稿を行った。申し込み欄の参加理由にInstagramからという人がいた。成果を出せたのでよかったと思う。だた、もう少しはやく投稿できたらよかったと感じている。	4点

2. 「阪神まち大学」で学んだことを具体的に記入してください。

(チーム活動・チームでの役割、県・こみサポ・参加団体との連絡調整、つながり交流祭の運営といった活動を通じて学んだことや自身の適性について把握したこと、習得したスキル等)

リーダーや総務という役割がない中でチームメンバーを支える、ということ学んだ。最後にまとめるリーダー、副リーダーや、県、こみサポの方に連絡をする総務の方の力になれるように。そして、なにかを決めるときには、材料がたくさんあったほうが良いと思うので、ミーティングでは積極的に発言し、思いついたことはどんどん述べていった。役割がないからこそ、チームの前に立っている人をどのように支え、行動すべきかを考えて行動する力を習得できたと思う。

3. 「阪神まち大学」の経験を今後どのように活かしていきたいか記入してください。(就活のES、今後別のプロジェクトにおける活躍など)

一昨年のわたキャラでリーダーを務めた経験と、今回の「阪神まち大学」でのチームでの活動経験を通して、今後は就職活動の場において、自身の強みや成長として整理し、相手に分かりやすく、自分の言葉で伝えていくようにしたい。

4. 来年の実行委員会に向けて

・少しでも疑問に感じたことは、すぐに質問して解消すること。その場で、自分の意見を言うこと。どんどん先に進んでしまうので、躊躇せず、発言することが大切だと思います。

・失敗や間違いを恐れてしまうと思いますが、学生の今のうちに経験すること、それが成長に繋がると思うので、とにかく行動するのみです。かなり大変だとは思いますが、必ず自分の力になります。頑張ってください。応援しています。

5：作業別振り返りレポート

団体連絡

1. 活動開始時期

2025年10月1日

2. 活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

活動内容	<ul style="list-style-type: none">資料作成（開催概要、準備物に関して、回答書）団体へのメール連絡団体との面談
良かった点	<p>[資料作成]</p> <ul style="list-style-type: none">分かりやすく誤解を与えない資料を作成することができた。作成後に、ダブルチェックを行うことができた。 <p>[メール]</p> <ul style="list-style-type: none">ビジネスマナーを守って、正しい言葉づかいでメールを送ることができた。 <p>[参加団体との関わり]</p> <ul style="list-style-type: none">参加団体との事前面談では、話しやすい雰囲気づくりをすることができた。事前に用意したスライドを用いて、分かりやすい説明ができた。メンバーの中に、昨年や一昨年のつながり交流祭実行委員会の経験者がいたため、団体からの質問や不安な点にもスムーズに答えることができた。
反省点	<p>[資料作成]</p> <ul style="list-style-type: none">詳細を決めるのが遅かったため、資料作成がぎりぎりになってしまった。役割分担があまりできておらず、1人や2人で進めてしまった部分がある。事務局へもっと報告・連絡・相談を行うべきだった。 <p>[メール]</p> <ul style="list-style-type: none">メンバー間でそれぞれメールを送る団体を役割分担していたが、途中でそれが曖昧になってしまった。メールの返信が遅い団体に、もっと催促をするべきだった。 <p>[団体との関わり方]</p> <ul style="list-style-type: none">事前面談は、1回ではなく2回行うべきだった。質問や不安がないと答える団体は、不安がないのではなく内容を理解していないだけの可能性があるため、もっと確認しておくべきであった。不可抗力だが、景観生態研究室がイベントへの参加を辞退してしまった。こちらとしても、もう少し相談に乗れなかったかと反省している。

冊子作製

1. 活動開始時期

2025年10月末～

2. 活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

活動内容	ポスター企画、デザイン立案
良かった点	<p>[ポスター構成]</p> <ul style="list-style-type: none">ホームページ以外からも申し込みできるように電話番号とメール、FAXの番号を記載した。写真、イラストを多用し親しみやすさを演出できた。事務局の協力もあり情報量を多くしつつ、見やすい配置・配色にすることができた。 <p>[仲間との協力]</p> <ul style="list-style-type: none">原案が完成した後に、全員で改善点を話し合いながら微調整を行ったことで、メンバー全員がポスター制作に関わることができた。ポスターは交流祭に向けて大きな役割を果たすものであり、また、その作成を通して大きな達成感を得られるものであるため、全員で取り組んで達成感を共有できたことは良かったと感じている。 <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none">ポスターと同じデザインのチラシを見て参加してくれた人がいた。
反省点	<p>[役割分担]</p> <ul style="list-style-type: none">各自でポスターデザインを持ち寄り、その中から一つを選ぶ方式をとったためメンバー全員の労力を使った。あらかじめ話し合いを行い、担当者を決めてから作成した後に、全体共有と微調整を行った方が効率よく進められたのではないか。 <p>[作成時期]</p> <ul style="list-style-type: none">締め切り間近で取り組み始めたため、余裕がなかった。

広報活動

1. 活動開始時期

2025年11月

2. 活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

活動内容	Instagramの投稿、作成
良かった点	<ul style="list-style-type: none">Instagramがきっかけで来てくれた方がいた。去年よりもハッシュタグを多くつけて、よりたくさんの人に見てもらうように工夫した。団体さんの紹介文が団体さんの書いてくれた文をもとにしてあるので簡潔にわかりやすくなった。サムネイルを見やすくするための工夫をした。
反省点	<ul style="list-style-type: none">投稿するのが開催日の1週間前になってしまったので、もっと早くするべきであった。開催概要と団体紹介のみになってしまった。去年よりも投稿数が少なくなってしまった。投稿に写真を入れられなかった。

当日準備

1. 活動開始時期

11月中旬～

2. 活動を振り返って、良かったこと、課題や反省点

<p>活動内容</p>	<p>司会シナリオおよびスライドの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> グループワークのファシリテーションに向けた準備 会場の配置図作成
<p>良かった点</p>	<p>[司会シナリオおよびスライドの作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオでは、必要な情報を過不足なく含め、タイムテーブルに沿って分かりやすい内容を作成できた。 スライドは、シンプルに見やすく、シナリオとリンクした分かりやすいものができた。 コミサポの方と十分に報告・連絡・相談ができた。 当日の変更にも柔軟に対応ができた。 イベントを盛り上げるべく、明るく司会進行ができた。 <p>[グループワークのファシリテーションに向けた準備]</p> <ul style="list-style-type: none"> 阪神南地域を3色で表すという自由度が高く、かつイベントの趣旨にあった企画ができた。 アイスブレイクなどを取り入れることで、話しやすい雰囲気を作れた。 阪神南地域に関する連想をしてもらったうえで、色のアイディア出しをってもらうという順序が良かった。 時間配分も詳細に決めることができ、当日の細かい変更にも柔軟に対応できた。 <p>[会場の配置図作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> メンバーに甲南大学西宮キャンパスの学生がいたため、会場のイメージをある程度共有することができた。 各団体の配置が分かりやすいかつ移動しやすい配置ができた。
<p>反省点</p>	<p>[司会シナリオおよびスライドの作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオの作成に取り掛かるのが遅く、急ピッチで作業を進める必要があった。→前回の資料があったので作成時間が短く済んだが、事前に作成が必要な項目を初めにリストアップする スライドの内容に、一部誤りがあった。(人の漢字のふりがな) →人名は特に誤字脱字がないかの厳重な確認が必要。 <p>[グループワークのファシリテーションに向けた準備]</p> <ul style="list-style-type: none"> 2部屋に分けたため、当日の欠席者などに関する対応が大変だった。 (対応をコミサポに任せてしまった。) イベントに参加された先生方は遠慮がちでグループワークにはあまり参加していただけなかった。 2部屋に分けたため、ファシリテーターによって盛り上げ方が異なった。 時間配分をしていたものの、班によってスピードのばらつきがあった。 →ここは今回のグループワークの良さでもあり、当日柔軟に対応できたと思うので進行としての反省です。 <p>[会場の配置図作成]</p>

- 分かりやすい配置図の作成ができず、コミサポに任せきりになってしまった。→時間もなかったのもっと早くから作成していれば自由度高く修正もできたのではないか。
- 会場設営をしてくださった甲南サービスセンターに、イメージがうまく伝わっていない部分があった。(会場によっては、私たちが設営をすることもあります) →対面やオンラインで伝える必要がある